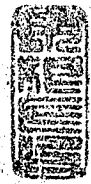


291  
70

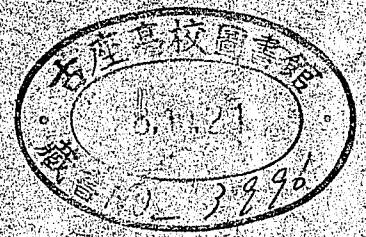
熊野軍記  
隆山堂一發



291



291  
70  
1



中根七郎

熊野軍記

熊野の山者御代々 天子御所の御地多く御領  
名御所可後 南朝の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
と云是則ち天下の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
没御所 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
此書例被出御行一々不易の式奉行事 熊野の御地多し  
萬の歳を祈る亦御所より毎歳御地多し 熊野の御地多し  
如万歳を祈る事 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
を御所より御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
御所より御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し  
御所より御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し 熊野の御地多し

天正十三年秋九月大將秀吉公評定と集り盛岡本  
先年迄利根郡小一萬一二千餘の人数を併し口濱の芝  
加り園中の郷士ととも縣爲に其禁情難止一書に當  
家子代とあり日海中故東人者、公家ヲ視萬歳ノ  
サシカノ事、不ク刺書ハ同ノ格、往還ヲ妨事被  
先教所爲難止一書に當り、堀田右馬助爲長盛ノ利  
りて同所停止一書と古社務方、申渡さる女比一夜法  
印カト、和野藤河守湯川兵部右輔止相書奉。女文の  
先頃湯浅右近自控七郎次郎方迄未使、書封令承  
知停然若本件向申言早速可留留修治者物承持身  
爲靜證得此段、被承知停様ト、存留委細申合、  
停治火急不詳停候方、爲頭家方、及相談信書

大將大時、秋  
天正十三年、秋  
九月、大將、秀吉、公、評定、と、集り、盛岡、本、

天正十三年、秋、九月、大將、秀吉、公、評定、と、集り、盛岡、本、  
先年、迄、利根、郡、小、一、萬、一、二、千、餘、の、人、数、を、併し、口、濱、の、芝、  
加り、園、中、の、郷、士、と、とも、縣、爲、に、其、禁、情、難、止、一、書、に、當、  
家、子、代、と、あり、日、海、中、故、東、人、者、公、家、ヲ、視、萬、歳、ノ、  
サシ、カ、ノ、事、不、ク、刺、書、ハ、同、ノ、格、往、還、ヲ、妨、事、被、  
先、教、所、爲、難、止、一、書、に、當、り、堀、田、右、馬、助、爲、長、盛、ノ、利、  
り、て、同、所、停、止、一、書、と、古、社、務、方、申、渡、さ、る、女、比、一、夜、法、  
印、カ、ト、和、野、藤、河、守、湯、川、兵、部、右、輔、止、相、書、奉、女、文、の、  
先、頃、湯、浅、右、近、自、控、七、郎、次、郎、方、迄、未、使、書、封、令、承、  
知、停、然、若、本、件、向、申、言、速、速、可、留、留、修、治、者、物、承、持、身、  
爲、靜、證、得、此、段、被、承、知、停、様、ト、存、留、委、細、申、合、  
停、治、火、急、不、詳、停、候、方、爲、頭、家、方、及、相、談、信、書

天正十三年、秋、九月、大將、秀吉、公、評定、と、集り、盛岡、本、  
先年、迄、利根、郡、小、一、萬、一、二、千、餘、の、人、数、を、併し、口、濱、の、芝、  
加り、園、中、の、郷、士、と、とも、縣、爲、に、其、禁、情、難、止、一、書、に、當、  
家、子、代、と、あり、日、海、中、故、東、人、者、公、家、ヲ、視、萬、歳、ノ、  
サシ、カ、ノ、事、不、ク、刺、書、ハ、同、ノ、格、往、還、ヲ、妨、事、被、  
先、教、所、爲、難、止、一、書、に、當、り、堀、田、右、馬、助、爲、長、盛、ノ、利、  
り、て、同、所、停、止、一、書、と、古、社、務、方、申、渡、さ、る、女、比、一、夜、法、  
印、カ、ト、和、野、藤、河、守、湯、川、兵、部、右、輔、止、相、書、奉、女、文、の、  
先、頃、湯、浅、右、近、自、控、七、郎、次、郎、方、迄、未、使、書、封、令、承、  
知、停、然、若、本、件、向、申、言、速、速、可、留、留、修、治、者、物、承、持、身、  
爲、靜、證、得、此、段、被、承、知、停、様、ト、存、留、委、細、申、合、  
停、治、火、急、不、詳、停、候、方、爲、頭、家、方、及、相、談、信、書











原本註

右一冊者因外之仕官和日格左馬本也  
寛永十四年九月格外右河掾吉原良清之印  
家臣其治部左馬之  
明治十三年六月二十日一馬之 山本香園

昭和十五年九月  
山本香園蔵  
一冊

山地一揆之事

又惟子の民を蒙一人を以て其の事是更なる  
らふに其の當り其の事一揆を以て其の事  
口事と云ふ事あり其の事一揆を以て其の事  
而四討に者其の事一揆を以て其の事  
て其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
あはれける其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
ふあはれける其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事

其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事

其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事  
其の事一揆を以て其の事一揆を以て其の事







一 本在丹波川  
 一 本在丹波川  
 一 本在丹波川  
 一 本在丹波川

信の丹波川行探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 信より探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 信より探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 信より探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の

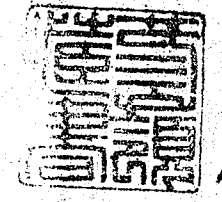
自、同、

右の如く探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の

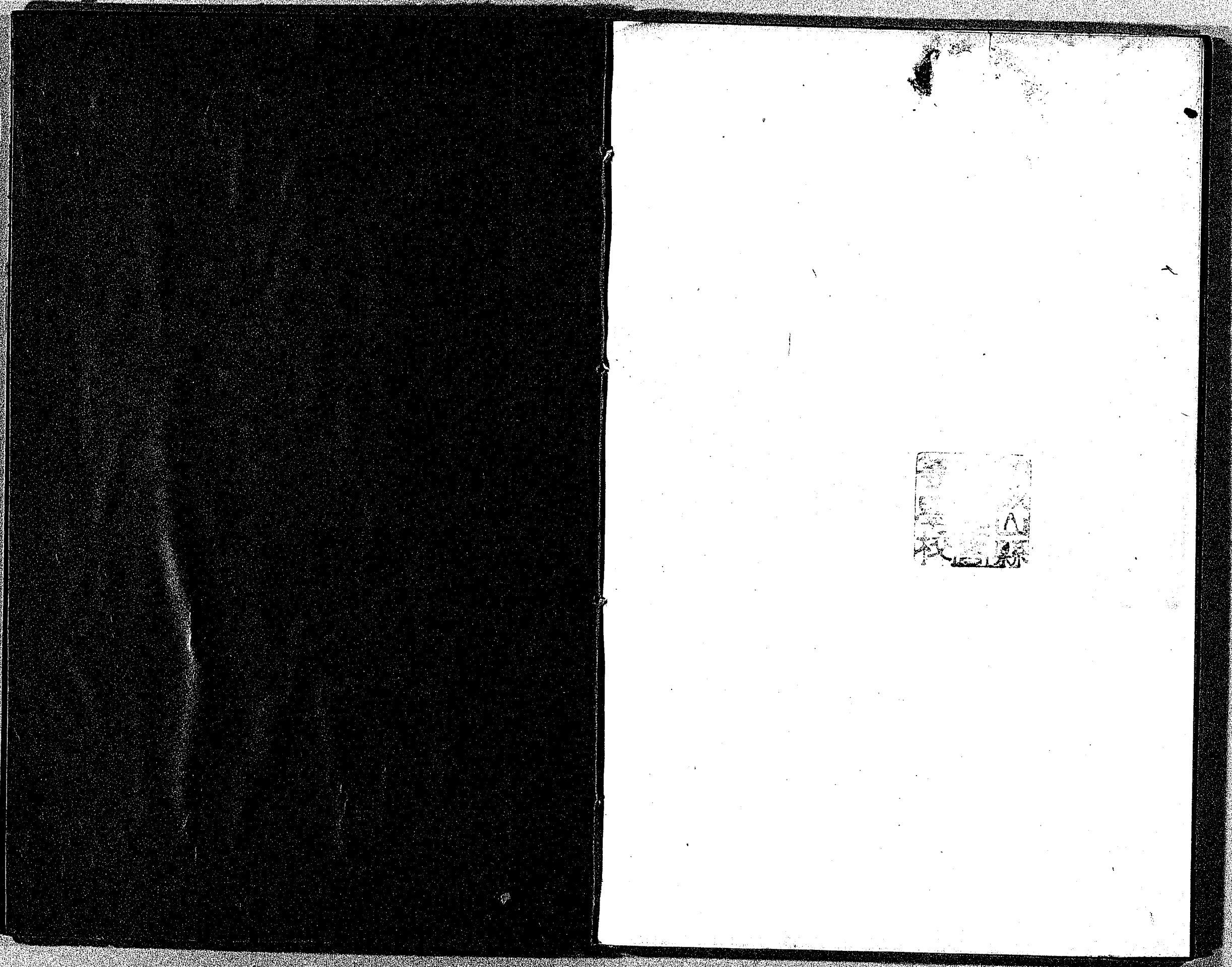
三、七、八、九、十、

歸以探丹波川  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の

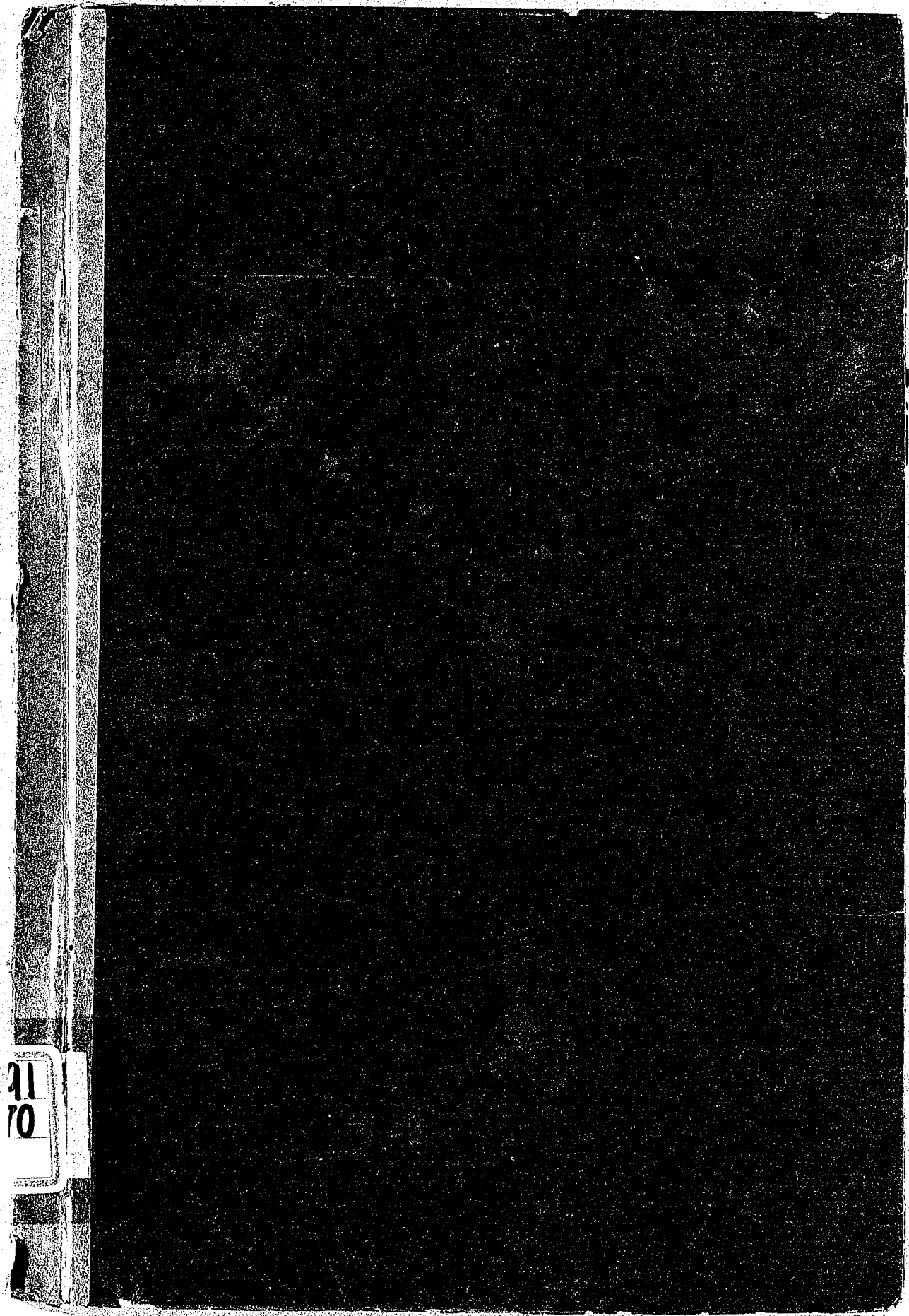
無事探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の  
 探丹波川河口に於て所記の如く丹波地方の



探丹波川河口  
 探丹波川河口



8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03996 | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9



41  
70



8 9 県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03996

160